

第27回看護研究会によせて

看護研究も今年で第27回を迎えることが出来ました。一昨年来よりの厳しい環境の中で看護の質を向上させ、いい看護を提供したいという熱意がこの研究会の開催につながっています。

今年度は24の演題と長期研修報告が4題となっています。看護実践の中からの研究でさらに看護の質向上につながる内容となっています。看護研究の継続した教育だけではなく、日々の多忙な業務を通して自己の成長を目指すスタッフの努力の成果です。

2006年は4月の診療報酬改定で7対1の看護師配置基準が新設され日本全国いたる所で看護師不足が叫ばれました。どの病院も看護師不足を訴えている状況です。看護部ではこの1年採用者の確保に奔走しましたが、あわせて定着を図るための対策にも力を入れ苦慮しています。

看護の質を上げることと、看護師の労働環境を改善し働きやすい職場を作っていくことが本来の目指すところですが、看護部としての魅力を作っていくことがこれからの課題です。

患者の安全・安心・満足の医療提供だけでなく、職員のゆとり、満足感を高め看護をする喜びを実感できる職場環境の整備をしていきたいと考えています。

当日はたくさんの方が参加し活発な意見交換が出来るように期待しています。

2007年2月

看護部長

阿部満子